心に届く旅
阪急交通社
Direct to your heart

2026年10月30日
HTRPR-26-034

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ　旅行概況（9月分）について

2026年9月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

（単位:千円）

区　分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	17,639,133	15,400,903	114.5%
国内旅行	15,134,035	15,914,474	95.1%
訪日旅行	428,076	525,934	81.4%
合　計	33,201,244	31,841,311	104.3%

【概況】

9月の営業概況は、総取扱額332億124万4千円、前年同月比104.3%となりました。

海外旅行市場においては、2026年9月の出国日本人数が前年同月比106.3%と3ヵ月ぶりにプラスに転じ、需要の回復が見られました。

このような状況の中、当社ではシルバーウィーク需要の獲得に向け、欧米方面を中心にビジネスクラス利用商品の販売を強化したほか、アジア方面ではデラックスホテルを利用する商品を拡充しました。また、燃油高騰への対応として、シンガポールやオーストラリアでは、燃油サーチャージを旅行代金に含めたパッケージ商品を投入し、需要の活性化に努めました。

その結果、ヨーロッパが好調に推移したほか、アメリカ南西部の国立公園を巡る「グランドサークル」ツアーが伸長しました。アジア方面では、シンガポールとマレーシアが前年を大きく上回り、オーストラリアでも周遊型商品が牽引し好調に推移しました。

海外旅行の9月の取扱高は176億3913万3千円となり、前年同月比114.5%となりました。

国内旅行市場においては、総務省発表の 2026 年 9 月全国消費者物価指数が前年同月比で 2.1%上昇となり、物価高に伴い依然として消費行動には慎重な姿勢がうかがえます。

このような状況の中、当社ではシルバーウィークの需要獲得に向けて、秋の北海道を目的地としたテレビ通販を実施したほか、関東方面では大相撲観戦や歌舞伎鑑賞を組み込んだ旅行商品の販売を強化しました。

その結果、関東や北海道が堅調に推移したほか、中国地方、および北陸・甲信越エリアのバスツアーが人気を集め、取扱高が前年を上回りました。一方、近畿方面では、昨年開催された関西万博関連ツアーの反動減があり、当月の国内旅行の取扱高は 151 億 3403 万 5 千円、前年同月比 95.1%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

（単位:千円）

区　分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	3,024,326	3,047,130	99.3%
国内旅行	177,922	201,643	88.2%
訪日旅行	28,324	7,906	358.3%
合　計	3,230,572	3,256,681	99.2%

【概況】

9 月の営業概況は、総取扱額 32 億 3057 万 2 千円で、前年同月比 99.2%となりました。

海外旅行は、業務出張が引き続き堅調に推移したものの、前年同月に受注した大型団体旅行の反動減により、前年同月比 99.3%となりました。

国内旅行は、業務出張の需要が低調だったことから、前年同月比 88.2%にとどまりました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社 、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

（単位:千円）

区　分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	20,339,323	18,039,677	112.7%
国内旅行	15,277,098	16,075,226	95.0%
訪日旅行	456,400	533,840	85.5%
合　計	36,072,821	34,648,743	104.1%

※2 社間の取引を相殺したものです。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9　TEL:03-6745-7333 ／ FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25　TEL:06-4795-5711 ／ FAX:06-4795-5724